



学校だより

我慢 笑顔
努力する力

令和3年11月2日
長崎市立三和中学校
校長 岩永聡輔

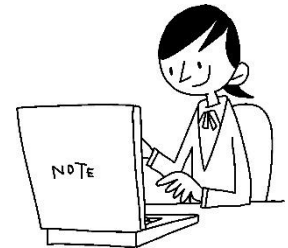
立冬 今年は11月7日

少し前まで汗ばむ陽気でしたが、もう11月。秋から冬へ季節は変わっていきます。先日、自然観察中に、冬鳥として大陸から渡ってくるマガモを見つけました。季節は確実に動いています。「小春日和」は、11月の春のように暖かく晴れた日のことを指します。(小春 旧暦10月の異称) 今年の冬は、「寒い」「暖冬」「雪が多い」などの様々な予想が出ていますが、2～3日後の天気予報もはずすことがあるのに、3か月後の天気なんて…。



WEB・NETについて 危険性も十分認識してください

かつて学校ではPC室だけのインターネット接続でしたが、GIGAスクール構想により、一人一台の端末が割り当てられ教室でもインターネットに接続できます。各家庭でも、PCがなくてもスマートフォン等の端末で簡単にインターネットと接続できる時代です。子どもたちに便利さだけでなく、電子情報の取り扱いの難しさ・恐ろしさを理解してもらうために、学級で話や、専門家を呼んで注意喚起をしているところですが、なかなか自分のこととして捉えることができないようです。校長のスマートフォンからも、おそらく三和中の生徒だと思われるフェイス…やインスタ…を何度も目にします。「名前」「誕生日」「部活動」「顔写真」「学校名」…、これだけ個人情報公開したら、三和中の生徒だと分からないはずがありません。



そこで保護者の皆様をお願いします。お子さんがどの情報まで公開しているかを把握してください。生徒の皆さんは、本当に公開してよい情報なのかを慎重に考えるようにしてください。「顔写真」は加工しても個人の特長はできます。また一緒に写っている友達も公開を同意していますか？まさか、ネットで見つけた画像や他人のSNSの画像を無断掲載なんてしていませんよね。(長崎市PTA連合会は「小中学生にSNSは不要」と呼び掛けています。)

校長より 少し難しいけれど大切な話です

10月31日は、衆議院議員総選挙の投票日でした。投票率も56.89% (長崎県) と、国民が政治に関心を持っていない現実を知らされました。法律が変わり18歳以上から投票できるようになり、中学校でも「主権者教育」が重視されるようになりましたが、大人の現状を見ると子どもたちに申し訳ないと思うばかりです。単純に考えれば、投票総数の過半数で議員の過半数を占めます。仮に投票率が50%だとすると、50%の半分、つまり国民の25%の考えが「国民の総意」となってしまいます。…やはり「主権者教育」は重要ですね。さらには、最高裁判所裁判官「国民審査」。小中学校の社会科で学ぶ「三権分立」の根幹に関わる制度であるにもかかわらず、選挙期間中ほとんど話題にも上がらなかったことは残念でなりません。確かに、自治体からの公報はかなり難しい表現です。新聞を購読していない家庭には、広報そのものが届いていないという事例もあります。しかし「司法の独立」を保つには必要な制度です。「若い世代も投票を！」と声高に叫ぶ前に、まずは「大人」が、「課題」にしっかり向き合うべきと感じました。



中学生の皆さん、今度は君たちの選挙、生徒役員改選です。「より良い国に」への第一歩として、「より良い学校」のために、しっかり考えて行動しましょう。

※ 登下校について … 保護者の皆様へ …

学校だよりでも過去何度か話題にしましたが、保護者の車での朝夕の送迎が増えています。長崎市では、小中学生は徒歩での通学が原則です。特別な事情がない限り「歩いて登下校」です。朝夕ともに、学校周辺に何台もの送迎の車があります。校地内・道路上とも接触事故の心配があります。何より、小中学校の間はもっと子どもを鍛えるべきです。今鍛えなくていつ鍛えるのですか？ 将来を考えての「厳しさ」は「優しさ」です。